

自昭和十九年十一月一日
至昭和十九年十一月三十日

陣中日誌

野砲兵第十聯隊第二中隊



1314

	陣地構築作業開始以來一ヶ月の間氣候風土ノ激變環境ノ不良等ハ從來幹部以下不断ノ努力ニヨリ一蹴全員ノ志氣極メテ旺盛ニシテ以死必勝ノ實ヲ發揮シ作業進捗ハ豫期以上ノ成果ヲ収メ
十月一日	ツツアリ
水曜日	人六一名 馬二頭
晴	日 課
香山坑	午前構築作業(掩蓋、交通壕、坑道) 午後 右同
網弦	人三三名
晴	日 課
	午前構築作業(坑道、交通壕) 午後 右同

陸軍

豐原	晴	人四三名	馬一五頭
十月二日	木曜日	人六一名	馬二頭
香山坑	晴	午前構築作業 午後 右同	(掩蓋、交通壕、坑道) (右同)
網弦	晴	人三三名	
	晴	午前構築作業	(坑道、交通壕)

	午後 構築作業 (坑道、交通壕)
豊原	観測所並、交通壕掘開、概成
晴	日 課
豊原	人四三名 馬一五頭
	午前 掩體構築作業 (砲車車輛)
	午後 右同 (右同)
十月三日	今日明治ノ圭節決戦下全員ノ志氣極メテ旺盛
金曜日	ナリ八時全員臺上ニ於テ遙皇居遙拜來ルヘ
曇後小雨	キ一大決戦ニ更ニ決意ヲ新ニセリ
香山坑	人六一名 馬二頭
	日 課
	午前 構築作業 (掩蓋、坑道、交通壕)

陸軍

1317

	<p>午後右同 (右同) 十五時二十分隊長業務連絡、為高雄地區方面出張、處歸隊ス</p>
網弦	<p>人三三名</p>
曇	<p>日 課</p>
	<p>八時全員遠東天ヲ拜ス</p>
	<p>午前構築作業(坑道、交通壕)</p>
	<p>午後右同 (右同)</p>
豊原	<p>人四三名 馬一五頭</p>
晴	<p>九時全員營庭中央ニ集合遙拜式ヲ舉行ス</p>
	<p>午前休務</p>
	<p>午後休務</p>

網	弦	人三三名	土曜日	十月四日	馬二頭	人六一名	香山坑	曇	香山坑	午後 右同	七時三十分隊長構築作業指導ノ為公司寮地 區ニ出張ス	鐵五四五一露命第二十六號	鐵五四五一部隊露營命令 香山坑	一、 陸軍中尉 小林豊樹	業務連絡ノ為本四日ヨリ一泊二日ノ豫定ヲ以テ 公司寮地區ニ出張ヲ命ス	土曜日	網
---	---	------	-----	------	-----	------	-----	---	-----	-------	------------------------------	--------------	--------------------	-----------------	--------------------------------------	-----	---

陸軍

1319

陸軍	午後七時	(右同)	十三時隊長業務連絡ヲ終ヘ公司寮ヨリ歸隊ス 十九時二十分隊長圖上教育及業務連絡ノ為豊 原鐵第五四五一部隊ニ出張ス	鐵五四五一露命第二十七號	鐵第五四五一部隊露營命令 計青嶺一書	一、陸軍中尉 小林豊樹	業務連絡ノ為本五日ヨリ四泊五日ノ豫定ヲ以テ	豊原鐵第五四五一部隊ニ出張ヲ命ス	二、陸軍上等兵 橋本 勇	事務連絡ノ為明六日ヨリ一泊二日ノ豫定ヲ以テ	豊原鐵第五四五一部隊ニ出張ヲ命ス	細強	人三三名
----	------	------	---	--------------	--------------------	-------------	-----------------------	------------------	--------------	-----------------------	------------------	----	------

十月六日	人六一名	馬二頭
月曜日	日	課
香山坑	午前 構築作業 (掩蓋、坑道、交通壕)	
晴	午後 右同	(右同)
	七時三十分上等兵橋本勇事務連絡、為豊原	
	鐵第五四五部隊ニ出張ス	
網弦	人三三名	
晴	日	課
	午前 構築作業 (坑道、掩砲所)	
	午後 右同	(右同)
豊原	人四三名	馬一五頭
晴	日	課

1323

	<p>午前掩體構築作業(車輛) 午後 右同 (右同)</p>
<p>十月七日</p>	<p>人六一名 馬二頭</p>
<p>火曜日</p>	<p>日 課</p>
<p>曇後晴</p>	<p>午前構築作業(掩蓋坑道交通壕) 午後 右同 (右同)</p>
<p>香山坑</p>	<p>十六時上等兵橋本勇事務連絡ヲ終ヘ豊原ヨリ 歸隊又</p>
<p>網弦</p>	<p>人三三名 日 課</p>
<p>曇後晴</p>	<p>午前構築作業(坑道掩砲所) 午後 右同 (右同)</p>

東京小隊誌

網弦	人三三名	山雨後雲	日課
午前構築作業 (坑道掩砲所)	午後右同	(右同)	
豊原	人四三名	馬一五頭	
六時十分吉田伍長業務連絡ニヨリ嘉義第一三八〇部隊ニ出張ス	十一時三十分空襲警報發令	十一時五十七分臺中臺南空襲警報解除	日課
午前馬手入	午後兵器手入	一、陸軍兵長 森井幸男	

	<p>同</p> <p>玉田静男</p> <p>十月十日付ニテ陸軍伍長ニ任セラル</p>
<p>十月十日</p> <p>土曜日</p>	<p>人六一名</p> <p>馬二頭</p>
<p>香山坑</p> <p>小雨</p>	<p>午前土工具検査並整備</p> <p>午後内務</p>
<p>網弦</p>	<p>十九時三十分構築作業隊八連ニ豊原ニ歸隊ノ命アリ</p>
<p>曇後小雨</p>	<p>人三三名</p> <p>日課</p>
	<p>午前構築作業(坑道掩砲所)</p> <p>午後右同</p> <p>(右同)</p>

豊原	人四三名	馬一五頭
晴	日	課
午前 火砲手入	午後 携帶兵器手入	十六時三十分吉田伍長連絡ヲ終ヘ嘉義ヨリ歸隊ス
赤作命第一號	野砲兵第一大隊命令	一、聯隊ハ豊原及臺北ニ兵カヲ集結シ出勤ヲ準備ス
南地區及第二地區ニ派遣シアル工事隊ハ作業ヲ	中止シ豊原ニ歸還セシメラル	二、大隊ハ豊原ニ兵カヲ集結シ出勤ヲ準備セントス
三、各隊ハ「ワ」號演習出勤準備ニ準シ速ニ出勤ヲ準備スヘシ	備スヘシ	四、各隊ノ携行スヘキ兵器彈藥等ハ「ワ」號演習携
土月上旬一日 豊原		

行兵器彈藥ニ準據スルノ外現地ニ於テ受領シタ
ル土工器具、及對戰車資材ハ成シ得ル限り多數
携行スヘシ

五、教育ニ關シテハ別ニ指示スルモ各隊ハ寸暇ヲ利
用シ對戰車戰鬪、夜間戰鬪並ニ挺進斬込
ヲ訓練スヘシ

六、各隊ノ現在入院シアル患者ハ部隊勤務ニ堪ヘ
得サルモノノ外勉メテ之ヲ退院セシムヘシ

七、本出勤準備ヲ「ナ」號演習ト稱ス
之カ秘匿ニ關シテハ別冊「ハ」號演習企圖秘匿要
領ニ依ルヘシ

大隊長 赤座少佐

下達法 印刷交付

一字訂正

陣地構築作業着手以來四十日終始熱烈ナル幹	部ハ陣頭指揮ニ依リ今構築ノ五分ノ四程度終了	餘ス處句日ニシテ全構築ノ完成ヲ期待シ遲ニキ	心魂ヲ傾注シアル時部隊ハ豊原ニ集結ヲ命セ	ラレ大望ノ新任務ヲ拜シ凄慘奇烈ナル決戦場	ニ突込セントス吾輩ノ本懐之ニ如クモハナシ	全員意氣軒昂雀躍訓練準備ニ邁進ス	人六一名 馬二頭	七時十分永安軍曹各地區作業隊ニ連絡ノ為出	發ス	七時三十分歸還準備	七時四十分敷内軍曹以下十九名豊原ニ先發内	一等兵中原正好石川豊マリア疑ノ為臺中	陸軍病院ニ入院
香山坑	晴	日曜日	土月十日										

<p>豊原 ←</p>	<p>網弦</p>	<p>豊原 ←</p>
<p>十四時永安軍曹連絡ヲ終ヘ歸隊 十五時三十分香山驛ニ塔載貨物搬送終了 十六時四十五分塔載完了同時香山ヲ出發 十八時四十分豊原ニ無事到着ス</p>	<p>人三三名 八時三十分永安軍曹來隊直ニ豊原歸還ノ連絡アリ 九時四十分歸還準備 十四時三十分火山脚驛ニ塔載貨物搬送終了 十六時三十分塔載完了同時火山脚出發シ竹南ニ於テ香山坑作業隊ト合致 十八時四十分豊原ニ無事到着ス</p>	<p>豊原 ←</p>

豊原

人四三名

馬一五頭

晴

日

課

午前構築作業隊歸隊ノ豫定ニ付舎内外清掃

實施

午後對戰車及對舟艇射撃演習

十時三十分藪内軍曹以下十七名歸隊ス

十時三十分上等兵秋田道夫臺中鐵第五四五七部

隊ニ派遣ノ處退院ス

十六時三十分兵長川上齊夫外十名苗栗鐵第

五四六。部隊ニ派遣ノ處退院ス

十八時四十分第二地區構築作業隊隊長以下七五

名歸隊ス

十月十三日

人一四一名

馬一七頭

月曜日	日課
晴	午前對戰車及對舟艇射擊演習 午後同右
十一月十日	人二四一名 馬一七頭
火曜日	日課
晴	午前兵器被服手入 午後同右
豊原	十一時十分第一種警戒警報發令 十一時二十二分空襲警戒警報發令 十一時四十五分解除 十九時三十分ヨリ約三時間挺身隱密演習
土曜日	人二四一名 馬一七頭

水曜日	晴	午前内務實施	白	課
豊原	午後同右			
十月十日	晴	午前對戰車對舟艇射擊演習	馬一五頭	
木曜日	晴	午後同右		
豊原	午後同右			
		二十時三十分乘車補五號保養轉換馬及車頭		
		ノ夕メ上等兵山中廣男臺灣軍教育隊ニ出張ス		
十月七日	晴	午前對戰車對舟艇射擊演習	馬一四頭	
金曜日	晴	午後同右		

1336

豊原 午後右同

八時十分良秋號保管轉換及馬受領ノタメ一專
兵藤技裕彰化鐵第五四五部隊ニ出張ス

鐵五五一日命第六〇號

鐵第五五一部隊日々命令^{十月十七日}豊原

一、 小林隊 陸軍伍長 玉田 静男

十月十八日ヨリ十九日ニ亘リ實施セル反斯獄將校
下士官集合教育ニ專習員トシテ參加命令ス
依テ塚谷技術中尉ノ指揮ヲ以テ同日口九日迄ニ
臺中鐵第五四五部隊ニ到ルヘシ

二、日直司令ヲ充記ノ通り交代服務スヘシ

記

十八日 小林中尉ヲ武市中尉ニ
十九日 武市中尉ヲ小林中尉ニ

	<p>三、炭道豫防接種ヲ明十八日。九。ヨリ實施スヘシ 細部ハ秋醫部先任將校指示ス</p>
<p>土曜 日 上月十八日</p>	<p>人一四一名 馬一四頭</p>
<p>土曜 日</p>	<p>課 午前 對戰車對舟艇射擊演習 午後 右同</p>
<p>土曜 日</p>	<p>八時炭道豫防接種實施ス 十二時三十分上等兵山中廣夫馬保良轉換ヲ終 ハ歸隊ス</p>
<p>土曜 日</p>	<p>人一四一名 馬一四頭</p>
<p>土曜 日</p>	<p>課 午前 對戰車對舟艇射擊演習</p>

陸軍

豊原 午後 右同

十月二十日 人一四一名 馬一四頭

月曜日 戦局日ニ奇烈ヲ加ヘ決戦ノ機愈々急迫セル時繁忙ナル

晴 連日ノ諸業務ニ幹部以下益々志氣ヲ昂揚シ堅實且

豊原 ツ機敏ナル實行ノ下戦備ヲ完整セリ

本日ノ日課休務

十月二十日 人一四一名 馬一四頭

火曜日 日課

晴 四時ヨリ約四時間夜間機動演習

豊原 午後 休務

十月二十日 人一四一名 馬一八頭

水曜日	晴	午前 檢便實施後内務
豊原	午後 對戰車對舟艇射擊演習	
九時補充馬四頭、空育、繁盛、秋坂、沼新、號受領ス	十八時三十分血液檢查實施ス	
土曜日	晴	午前 對戰車對舟艇射擊演習
豊原	午後 右同	
土曜日	晴	午前 對戰車對舟艇射擊演習
人二四一名	馬一八頭	
金曜日	雨	午前 學科、フイリンピン事情

豊原	十月二十日 月曜日	晴	豊原	十月二十日 火曜日	豊原	
午後右同	人二四一名 馬一八頭 課	午前對戰車對舟艇射擊演習 午後右同	晝夜顛倒演習豫定計畫表 小林隊			
						28日 前段 一砲手(現性) 基本射撃 一取者(當日) 機動
						2300 後段 分業(山村) 匍匐演練 挺身射撃 砲隊取者半數
						0600 幹部教育 砲隊長 教育二回(不正確演習) 砲隊長教育(不正確演習) (砲隊長) 30' 30'

皇朝

十月三十日

水曜日

晴

豊原

30日

一中隊教練

想定状況設置

(隊長)

夜間攻撃ニ於テ一中隊戦闘

中隊員奮闘ヲ示ス

黎明以降

(対TK戦闘、肉攻動作自天戦ニヨル近接戦闘ヲ實施ス)

2000

0800

中隊教練團三教育

(隊長)

對舟艇

對TK

對擊隊員

100

100

備一各主任教官ハ夫々日々計畫ヲ作成シ晝間隊長ノ下ニ

考呈出其ノ認可ヲ受クルモノトスハ主任教官トス

出發目前ニ迫リ連日暴化タル諸業務ニ服シ在ル時三音間

ニ亘ル晝夜頻例演習ハ隊長核心トスル鞏固ナル團結ノ

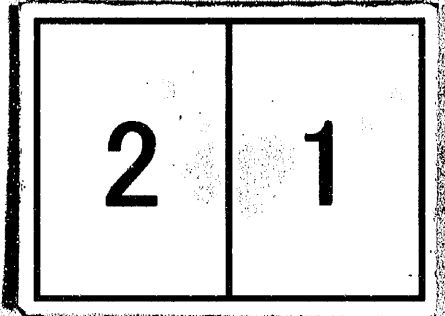
下全員必勝ノ精神ヲ堅持シ死生觀ニ透徹肉神以テ鬼

善米英撃滅ノ願魂ニ燃ハ米軍戦法ニ對スル基礎確立セリ

根原小津新

1344

分割撮影ターゲット

分割した部分の撮影順序	
分割撮影した理由	A3版以上のため
文書等名	「女」号演習編成表
上記のとおり分割撮影したことを証明する。	



演習編成表

小林隊

1345
1346

中隊長 曹長 永安軍曹 給養 太田伍長 瓦斯 三日伍長 喇 長瀬元信 傳令 谷本員一 觀測機 早瀬軍曹 通信機 吉田伍長 乘馬觀測 坂部吉雄 砂川一雄 乘馬通信 大前今雄 山本幸二 小林喜八 馬取坂大 岩本清 小西善雄 信川一夫 由月隆夫		附屬 村澤見智官		中隊機関 乘馬 小隊長 分隊長		指揮小隊長 大西中尉 觀測車長 平井俊一郎		隊首 輓馬 番番 砲													
段列長 富田曹長		隊列分隊長 森本伍長		彈藥車長 藤原正美		第四分隊長 三宅伍長		第三分隊長 泰井伍長		彈藥車長 市川新		第五分隊長 竹内伍長		第六分隊長 茶要市		第七分隊長 西坂軍曹		隊首 輓馬 番番 砲			
山中廣夫		田中壽茂		三村 竜 浅田義強 真鍋起行		平田滿義 井上儀一 濱子操		井上勝意 小山健二 三木博一		藤原拓男 藤枝裕 竹内亨		藤田豊次郎 西川朝雄 黒原二十		山田積 橋本清治 志二輕良		高砂勉 三木薫 難波梅一		和功 青山一市 東風松雪		隊首 輓馬 番番 砲	
121110987654321		1110987		654321		1110987		1110987		654321		1110987		654321		△		隊首 輓馬 番番 砲			
花堀門藤唐中細田益河井松藤河福本森		花堀門藤唐中細田益河井松藤河福本森		花堀門藤唐中細田益河井松藤河福本森		花堀門藤唐中細田益河井松藤河福本森		花堀門藤唐中細田益河井松藤河福本森		花堀門藤唐中細田益河井松藤河福本森		花堀門藤唐中細田益河井松藤河福本森		花堀門藤唐中細田益河井松藤河福本森		花堀門藤唐中細田益河井松藤河福本森		花堀門藤唐中細田益河井松藤河福本森			

